

九州観光推進機構 活動レポート

— 2011年8月号 —

感動がある。物語がある。九州



◆ 7月のトピックス

○ 韓国・大手映画ロケを支援 (6月20日～7月16日:福岡、佐賀、長崎、熊本)

韓国大手映画制作会社「TEWON ENTERTAINMENT」が九州を舞台に制作する映画ロケを行い、費用面等で支援を行いました。このロケは福岡、佐賀、長崎、熊本各県で実施し、撮影の多くは観光地で行われました。

映画は、韓国で大ヒットの映画「家門の栄光シリーズ」最新作として、本年9月に韓国全土で放映されることになっており、九州の知名度向上、九州観光情報発信で大きな効果が期待されます。

○ 中国・大連市メディア等招請を支援 (7月6日～10日:福岡、佐賀、長崎、熊本、大分)

九州内の旅行会社と大連市の旅行会社・航空会社等が招請した大連市のメディア(テレビ局・新聞)等が九州取材を行い、費用面等で支援を行いました。メディア一行は有田・雲仙・阿蘇・別府等、北部九州の観光地を巡り、精力的に取材を行っていました。

また、メディアに同行した旅行会社は、帰国後、早々に九州ツアーを造成しており、メディアによるPRと相まって九州への誘客に大きな効果が期待されます。大連市は九州と直行便で結ばれており、今後も多数の観光客誘致が期待できるため、引き続き同市での観光PRに取り組んでいくことにしています。



○ 韓国「プサン商談会」を開催 (7月7日:釜山広域市)

旅行会社やランド社を対象にした「プサン商談会」を開催し、九州の観光関係者とプサンの旅行会社等との商談を支援しました。今回は東日本大震災後初めての開催であり、開会式は在釜山日本領事館の余田総領事が来賓挨拶を行いました。日本60社、釜山50社を超える参加があり、今後の訪日観光動向確認や旅行商品造成等で積極的な商談が行われるなど大盛況となりました。



○ タイ・メディアを招請 (7月7日～10日:福岡、長崎、大分)

タイのテレビ「WORLD 360 DEGREES」関係者等5名を、当機構と福岡、長崎、大分の3県が費用を分担して招請しました。

この招請では、福岡、長崎、大分各県の観光地等の取材が行われたため、訪日旅行の有望市場であるタイでの九州の知名度向上に寄与するものと期待されます。

○ 中国・遼寧省メディアを招請 (7月9日～16日:九州各地)

九州運輸局と共同で遼寧省瀋陽市のテレビ局を招請し、九州各地で観光地等の取材が行われました。今回の行程は九州全県を回るものであり、指宿の砂蒸し温泉、島原半島のイルカウォッチング、別府の夜の街歩きなど、各地の特徴ある観光素材の取材となりました。



また、メディア滞在中、博多祇園山笠のクライマックスである「追い山」が行われ、九州を代表する祭の様子が撮影されました。取材内容は、中国全国で視聴できる遼寧テレビ局が約半年にわたって放映する予定であり、九州の知名度向上に大きな効果が期待されます。

○ 中国・上海市及び福建省メディア招請を支援（7月10日～15日：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分）

観光庁とJNTO（日本政府観光局）が主催した上海市及び福建省のメディア（新聞及びラジオ局）の招請について、取材先との連絡調整、訪問各県への情報提供などの支援を行いました。メディア一行は福岡から入国し、JR博多シティ、吉野ヶ里公園、ハウステンボス、黒川温泉、別府温泉等を順次取材しました。

今後も観光庁・JNTO等と連携をとりながらメディア招請などを通じて、中国市場における九州の効果的なPRを行っていくことにしています。



○ シンガポール「日本への旅行展」に出展（7月15日～17日：シンガポール）

シンガポールのチャンギ空港で開催された「日本への旅行展（Japan Timeless Travel & Fair）」（主催：Ishikawa Communication 共催：チャンギ空港）に出展し、九州の観光資源をPRしました。当イベントは旅行展のみならず、伝統的な日本食の試食・試飲コーナーの設置や、日本太鼓、舞踊、茶道といった文化部門、現代を代表するコスプレ・コンサートといったCOOL JAPAN部門など多岐にわたるパフォーマンスが行われました。初日の開会式は、メディア等を含めて約200名が出席し、イベント来場者数は約2,000人でした。



九州ブースでは、来場者へのお茶、お菓子を提供しながら、九州の観光案内を行いました。来場者からは東日本大震災の影響を懸念する声はほとんどなく、九州旅行に関する多数の質問をいただきました。今後もシンガポールでのPRを継続的に行い、九州の知名度向上と観光客誘致を図っていきます。

○ 香港・Weekend weekly 誌付録に広告出稿（7月18日：香港）

3月の東日本大震災以降、香港政府が発令していた九州を含む日本各地への渡航警報の6月10日解除のタイミングを捉えて、香港の2大旅行雑誌の一つであり、旅行者に大きな影響力を持つ「新假期 Weekend Weekly」が、日本を応援するため、7月18日発行号の別冊付録「日本50新事」を作成しました。

九州各県からは、夏場のトピックを提供してもらい、同別冊において4ページにわたる広告出稿を行いました。



○ 韓国「ロハス九州」関連メディアを招請（7月20日～23日：鹿児島、熊本、福岡）

韓国における20～30代の富裕層女性を対象に、ワンランク上のラグジュアリーな九州観光旅行ブランド「ロハス九州」の提案を行うため、2011年度は「映像と音で奏でる九州」をテーマに、韓国より歌手のキム・ヨヒさんを招請しました。

キム・ヨヒさんには、ファッション性の高い九州のオリジナル番組の制作と同時に、「ロハス九州」をテーマとして、今回の旅を通じて感じた九州をイメージして作曲をしていただきました。今後、韓国のケーブルテレビやYou

Tube、雑誌やフリーペーパーなどでPRを行い、東日本大震災発生により大きな影響を受けている韓国人観光客の回復を目指します。



○ 「夏たびフェア in 岡山」に出展（7月23日～24日：岡山市）

中国地区から九州への観光客誘致を促進するため、JR西日本主催によりJR岡山駅前で開催された「夏たびフェア in 岡山」に南九州3県（熊本、宮崎、鹿児島各県）とともに出展しました。同フェアには約2万人の来場者があり、出展ブースでの九州各県観光パンフレットの配布、九州の天然水試飲コーナーの設置に加え、各日30分間のステージイベントにおいて、九州新幹線鹿児島ルート全線開業後の九州観光のPRを行いました。



今回の出展では、九州新幹線全線開業と東日本大震災の影響もあり、ブース設置の観光パンフレット等を持ち帰る来場者も多く、来場者の「九州」への関心の高さ、誘客推進の手ごたえが感じられました。

○ 中国・フリーペーパー「南国風」を招請（7月25日～28日：熊本、大分、宮崎）

国土交通省九州運輸局との共催で、上海征西広告が中国で発行している九州専門情報誌「南国風」の記者等2名を招請し、各地のテーマパークを中心に取材が行われました。今回の取材は熊本のウルトラマンランド、大分のハーモニーランド、宮崎のサンメッセ日南など、親子で楽しめる施設が中心となりました。取材内容は8、9月頃に発行される第2号に掲載予定であり、今後、九州が家族旅行の目的地として注目を集めることが期待されます。



○ 中国・長江デルタ地域メディア及び旅行会社等を招請（7月26日～30日：福岡、熊本、宮崎、鹿児島）

国土交通省九州運輸局及び九州旅客鉄道と共催で、上海市旅游局、中国東方航空、上海周辺地域の主要旅行会社、メディア等総勢30名を招請し、九州各地の取材等が行われました。メディア一行は阿蘇・高千穂・桜島など主に南九州の観光施設を取材したほか、今年3月に全線開業した九州新幹線や各地の観光列車に乗車し、九州の豊富な観光資源を様々な角度から体験しました。



上海市を中心とした長江デルタ地域は、九州と近距離であり大市場であることから、今後も各関係機関等と連携し、同地域における九州の認知度向上、観光客誘致を積極的に図ることにしています。

○ 中国「孫文と九州」関連メディアを招請（7月28日～8月2日：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分）

今年は中国の辛亥革命100周年にあたることから、国土交通省九州運輸局と共催で中国（北京・上海・広州）、香港の主要テレビ局やポータルサイトを招請し、孫文とゆかりのある地や人物を中心に、九州各地で取材が行われました。

孫文ゆかりの地としては、福岡市の崇福寺（孫文を支援した玄洋社の墓地）、北九州市のいのちのたび博物館（孫文の揮毫を所蔵）、長崎市の福建会館（孫文が訪問）、荒尾市の宮崎兄弟資料館（宮崎滔天の生家）、南阿蘇村の小山旅館（孫文が逗留）等を紹介しました。

また、ゆかりの人物として、当時孫文を支援した宮崎滔天及び梅屋庄吉の子孫の方々へのインタビューも行われました。このほか、滞在中に福岡市内で開催された辛亥革命100周年記念フォーラムを取材し、パネリストとして参加した福岡、長崎、熊本各県知事からも辛亥革命100周年にちなんだメッセージをいただきました。



取材内容は、今年10月頃に各放送局において放映される予定であり、各放送局とも広範な放送ネットワークを有していることから、孫文ゆかりの地として九州が中国・香港を中心に広く注目を集めることが期待されます。

なお、今回の取材では、企画段階から西日本新聞及び大公網 Japan Online（香港の大手ポータルサイトの日本法人）にご協力いただきました。

○ 香港旅行会社緊急支援で誘客（7月：香港）

3月中旬以降、東日本大震災の影響により香港の大多数の旅行会社が訪日団体旅行の募集をとりやめる中、4月中旬から訪日旅行商品の販売を取行する香港旅行会社2社に対し、4月末に緊急支援措置として5～6月の九州への誘客実績に応じた助成を行うことを決定し、このほど、対象期間終了後の実績報告で、誘客目標数600人を大きく上回ったことが判明しました。

これは、未曾有の逆境の中、両社の熱心な販売努力により実現したものであり、警報解除後の各旅行会社間の競争本格化もあり、香港から九州への夏場以降の入国者増の呼び水となることが期待されます。



○ 海外メディアが九州観光情報を発信（7月）

九州安全、観光のPR等を目的とする海外メディア招請・取材等により、2011年7月に海外メディアから九州の観光地情報が以下のとおり発信されました。

【台湾】雑誌・・・Taipei Walker 誌で九州の観光地情報を紹介
ネット・・・Tripass で2回、九州の観光地情報を紹介

【香港】テレビ・・・TVBS「スポーツアワー」で3週にわたり九州の観光地情報を放映
新聞・・・Singtao Daily 紙で九州の観光地情報を紹介
雑誌・・・Weekend Weekly 誌で九州の観光地情報を紹介

【タイ】テレビ・・・Green Channel、Travel Station で延べ8日間、九州の観光地情報を放映

◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 8月以降の主な予定

- ・中国・フリーペーパー「南国風」招請（8月1日～5日：九州各地）
- ・台湾・メディア「九州ガイドブック出版社」招請（8月1日～18日：九州各地）
- ・中国・青島市メディア招請（8月7日～12日：九州各地）
- ・平成23年度「九州7県合同修学旅行説明会」開催（8月8日、18日、19日：東京、大阪、岡山）
- ・中国・旅行会社等セールス（8月8日～14日：瀋陽市、青島市）
- ・韓国・旅行会社セールス（8月9日～11日：ソウル特別市）
- ・タイ「海外旅行博覧会(Thai International Travel Fair 2011)」出展（8月18日～21日：バンコク市）
- ・台湾・テレビ局福岡取材支援（8月20日～25日：福岡市、北九州市）
- ・韓国「トレッキング・オルレ」情報発信（8月21日～23日：済州島）
- ・シンガポール「海外旅行博覧会(NATAS Holidays 2011)」出展（8月26日～28日：シンガポール）
- ・韓国「ビジット・ジャパン 韓国商談会2011釜山」参加（9月1日：釜山広域市）

- ・中国「天津国際観光産業展示会」出展（9月2日～4日：天津市）
- ・中国「（広東）国際旅游産業博覧会（CITE2011）」出展（9月2日～5日：広州市）
- ・シンガポール「海外物産展（Autumn Kyushu Fair 2011）」出展（9月6日～19日：シンガポール）
- ・「日韓交流おまつり」出展（9月25日：ソウル特別市）
- ・シンガポール「平成23年度VJ中央事業（JAPAN TRAVEL & FOOD FAIR 2011）」出展
（10月8日～9日：シンガポール）
- ・2011年度「第2回評議員会」開催（10月26日：福岡市）
- ・2011年度「第2回理事会」開催（11月10日：福岡市）

<2011年7月号の一部訂正について>

2011年7月号5ページ目「新入会員企業のご紹介」において、企業名の一部に誤りがありましたので訂正いたします。

（誤）ジェイアール九州バス株式会社

（正）ジェイアール九州バス株式会社

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 松尾

TEL：092-751-2943 E-mail：info@welcomekyushu.jp